

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合
信託期間	2011年12月28日(当初設定日)から無期限です。
運用方針	主に投資信託証券に投資を行い、信託財産の成長と利金等収益の確保を図ることを目的に運用を行います。
主要投資対象	投資信託証券を主要投資対象とします。
運用方法	投資信託証券への投資を通じて、金価格の値動きを概ねとらえることを目指す(金に係る外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。)とともに、公社債に投資(外貨建資産については為替ヘッジを行います。)することを基本とします。
主な投資制限	①投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 ②投資信託証券、短期社債等、コマーシャル・ペーパーおよび指定金銭信託の受益証券以外の有価証券への直接投資は行いません。 ③外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。 ①分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。 ②収益分配金額は、基準価額の水準および市況動向等を勘案して委託者が決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないこともあります。 ③留保益の運用については、特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。



PICTET

1805

ピクテ・  
ゴールド・インカム・ファンド  
(毎月分配型)  
愛称 ゴールド・インカム

運用報告書(全体版)

第34期(決算日2014年10月15日) 第37期(決算日2015年1月15日)  
第35期(決算日2014年11月17日) 第38期(決算日2015年2月16日)  
第36期(決算日2014年12月15日) 第39期(決算日2015年3月16日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。  
さて、「ピクテ・ゴールド・インカム・ファンド(毎月分配型)」は、2015年3月16日に第39期の決算を行いましたので、第34期から第39期までの運用状況をご報告申し上げます。  
今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

ピクテ投信投資顧問株式会社

東京都千代田区丸の内2-2-1

お問い合わせ窓口

投資信託営業部

電話番号 0120-56-1805

受付時間：委託会社の営業日の午前9時から午後5時まで  
ホームページ：[www.pictet.co.jp](http://www.pictet.co.jp)

## ■最近5作成期の運用実績

決 算 期	(分配落)	基 準 価 額		投資信託証券 組 入 比 率	純資産 総 額	
		税込み 分配金	期 中 騰 落 率			
	円	円	%	%	百万円	
第3 作成期	10期(2012年10月15日)	10,731	40	0.5	99.1	83
	11期(2012年11月15日)	10,723	40	0.3	99.3	79
	12期(2012年12月17日)	10,831	40	1.4	98.9	81
	13期(2013年1月15日)	11,229	40	4.0	98.7	85
	14期(2013年2月15日)	11,476	50	2.6	99.1	87
	11,359	50	△ 0.6	98.7	89	
第4 作成期	16期(2013年4月15日)	11,279	50	△ 0.3	99.3	92
	17期(2013年5月15日)	10,802	50	△ 3.8	99.4	92
	18期(2013年6月17日)	9,814	50	△ 8.7	98.9	85
	19期(2013年7月16日)	9,489	50	△ 2.8	97.8	83
	20期(2013年8月15日)	9,561	50	1.3	98.9	84
	9,539	50	0.3	98.8	84	
第5 作成期	22期(2013年10月15日)	9,197	50	△ 3.1	98.9	92
	23期(2013年11月15日)	9,290	50	1.6	99.0	94
	24期(2013年12月16日)	9,190	50	△ 0.5	98.9	93
	25期(2014年1月15日)	9,241	50	1.1	98.8	95
	26期(2014年2月17日)	9,489	40	3.1	99.1	99
	9,855	40	4.3	99.1	103	
第6 作成期	28期(2014年4月15日)	9,442	40	△ 3.8	98.9	100
	29期(2014年5月15日)	9,278	40	△ 1.3	98.9	97
	30期(2014年6月16日)	9,031	40	△ 2.2	99.0	97
	31期(2014年7月15日)	9,142	40	1.7	98.9	99
	32期(2014年8月15日)	9,241	40	1.5	99.0	101
	9,059	40	△ 1.5	99.0	98	
第7 作成期	34期(2014年10月15日)	8,981	40	△ 0.4	98.9	97
	35期(2014年11月17日)	9,177	40	2.6	98.6	103
	36期(2014年12月15日)	9,637	40	5.4	99.1	110
	37期(2015年1月15日)	9,628	40	0.3	100.5	109
	38期(2015年2月16日)	9,708	25	1.1	99.0	112
	9,274	25	△ 4.2	98.3	122	

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマークおよび参考指数は設定していません。

## ■ 当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基 準 価 額		投資信託証券 組 入 比 率
			騰 落 率	
第 34 期	(期 首)2014 年 9 月 16 日	円 9,059	% —	% 99.0
	9 月末	9,136	0.8	99.0
	(期 末)2014 年 10 月 15 日	9,021	△ 0.4	98.9
第 35 期	(期 首)2014 年 10 月 15 日	8,981	—	98.9
	10 月末	8,920	△ 0.7	98.9
	(期 末)2014 年 11 月 17 日	9,217	2.6	98.6
第 36 期	(期 首)2014 年 11 月 17 日	9,177	—	98.6
	11 月末	9,444	2.9	99.1
	(期 末)2014 年 12 月 15 日	9,677	5.4	99.1
第 37 期	(期 首)2014 年 12 月 15 日	9,637	—	99.1
	12 月末	9,560	△ 0.8	99.0
	(期 末)2015 年 1 月 15 日	9,668	0.3	100.5
第 38 期	(期 首)2015 年 1 月 15 日	9,628	—	100.5
	1 月末	9,915	3.0	99.0
	(期 末)2015 年 2 月 16 日	9,733	1.1	99.0
第 39 期	(期 首)2015 年 2 月 16 日	9,708	—	99.0
	2 月末	9,529	△ 1.8	99.0
	(期 末)2015 年 3 月 16 日	9,299	△ 4.2	98.3

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は各期首比です。

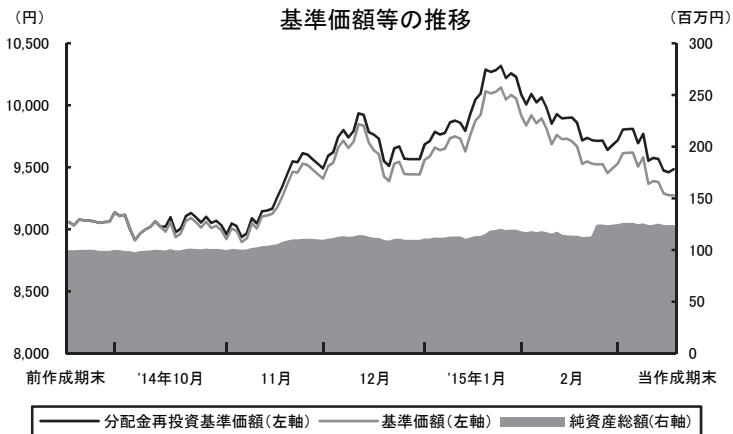
(注2) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマークおよび参考指数は設定していません。

## ■ 当作成期中の運用状況と今後の運用方針(2014年9月17日から2015年3月16日まで)

### 1. 基準価額等の推移

当作成期の分配金再投資基準価額\*は、4.7%の上昇となりました。

※「分配金再投資基準価額」は、購入時手数料等を考慮せず、税引前分配金を再投資した場合の評価額を表します。以下同じ。



### ○ 基準価額の高値・安値

決算期	期首	期中高値	期中安値	期末
第34期	14/9/16	14/9/30	14/10/6	14/10/15
	9,059円	9,136円	8,913円	9,021円
第35期	14/10/15	14/11/17	14/11/6	14/11/17
	8,981円	9,217円	8,897円	9,217円
第36期	14/11/17	14/12/10	14/11/18	14/12/15
	9,177円	9,847円	9,264円	9,677円
第37期	14/12/15	15/1/13	14/12/18	15/1/15
	9,637円	9,749円	9,389円	9,668円
第38期	15/1/15	15/1/26	15/2/9	15/2/16
	9,628円	10,143円	9,685円	9,733円
第39期	15/2/16	15/2/17	15/3/13	15/3/16
	9,708円	9,667円	9,275円	9,299円

(注)各期末の基準価額は分配金込みです。

### ◇ 主な変動要因

- 上昇▲ ・ 金(円建て)の価格が上昇したこと
- 上昇▲ ・ 実質的に組入れている債券からの利金収入
- 上昇▲ ・ 実質的に組入れている債券の価格が上昇したこと

### 2. 投資環境

- ・ 金価格は、市場の予想を下回る中国の経済指標やギリシャの政局不安のほか、原油価格の大幅な下落やスイス国立銀行が対ユーロでの上限目標の撤廃を発表したことなどから、リスク回避の動きが高まり上昇しました。
- ・ 世界の国債市場は、欧州中央銀行(ECB)による追加金融緩和の実施や原油価格の下落によるインフレ率低下観測などを背景に上昇しました。
- ・ 為替市場では、日本銀行が予想外の量的金融緩和策を実施したことや、市場予想を上回る米国の経済指標が続いたことなどを背景に、円に対して米ドルなどが上昇しました。

### 3. 組入状況

投資信託証券への投資を通じて、金価格の値動きを概ねとらえることを目指すとともに、公社債に投資(外貨建資産については為替ヘッジを行いました。)してまいりました。

投資先ファンドの組入比率は以下のとおりとしました。

投資先ファンド	組入比率		当作成期 騰落率
	前作成期末	当作成期末	
ピクテ(CH)プレシャス・メタル・ファンド - フィジカル・ゴールド	89.1%	88.4%	+5.4%
ピクテ円インカム・セレクト・マザーファンド	9.9%	10.0%	+4.4%

#### <投資先ファンドの組入状況>

##### 「ピクテ(CH)プレシャス・メタル・ファンド - フィジカル・ゴールド」

主に金に投資を行いました。

最新の年次報告書等で開示されている2014年9月30日現在の組入状況につきましては、12ページに記載の組入資産の明細をご参照ください。

##### 「ピクテ円インカム・セレクト・マザーファンド」

世界主要国のソブリン債券を主要投資対象とし、投資に当たっては、発行体の信用力や財政状況などを考慮したうえで、円インカム<sup>※</sup>が相対的に高いソブリン債券に着目し、投資を行いました。

<sup>※</sup>「円インカム」とは、円建てソブリン債券はその金利水準を指し、外貨建てソブリン債券は委託者が一定の条件で独自に算出した為替ヘッジに係るコストを控除した金利水準を指します。

外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い為替リスクの低減を図りました。

#### ◇国別組入比率(当作成期末現在)

国名	組入比率
アメリカ	35.8%
アイルランド	33.7%
イギリス	30.6%

<sup>※</sup>組入比率は当該マザーファンドにおける評価額の割合で、組入債券の合計を100%として計算しています。

#### 4. 収益分配金

当作成期中の収益分配は、基準価額の水準および市況動向等を勘案して決定しました。各決算期の分配金および分配金の計算過程につきましては、10 ページをご覧ください。

なお、収益分配にあてなかった留保益の運用については、特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

#### ◇分配原資の内訳

(単位：円・%、1 万口当たり、税引前)

項 目	第 34 期	第 35 期	第 36 期	第 37 期	第 38 期	第 39 期
	自 2014 年 9 月 17 日 至 2014 年 10 月 15 日	自 2014 年 10 月 16 日 至 2014 年 11 月 17 日	自 2014 年 11 月 18 日 至 2014 年 12 月 15 日	自 2014 年 12 月 16 日 至 2015 年 1 月 15 日	自 2015 年 1 月 16 日 至 2015 年 2 月 16 日	自 2015 年 2 月 17 日 至 2015 年 3 月 16 日
当期分配金	40	40	40	40	25	25
(対基準価額比率)	0.443	0.434	0.413	0.414	0.257	0.269
当期の収益	—	3	3	2	3	—
当期の収益以外	40	36	36	37	21	25
翌期繰越分配対象額	603	567	530	492	471	446

(注 1) 対基準価額比率は当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注 2) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は小数点以下を切捨てて表示しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

#### 5. 今後の運用方針

##### (1) 投資環境

米国では量的金融緩和が終了しましたが、一方で、ECB や日本銀行による追加の量的金融緩和は継続しています。量的金融緩和は金融市場の流動性の増減を通じて金の価格に影響を与えることから、今後の市場動向には注視が必要とみています。また、ウクライナ、中東、ギリシャなどの政情不安などに不透明感も残っており、今後市場の価格変動が大きくなる可能性があると考えています。

金は株式や債券などの価格との相関が低く、またインフレに強い性質を有することから、分散投資の観点で重要な資産といえます。また、地上に存在する全ての金には限りがあり、「価値の貯蔵手段」として中長期的に選好されるという構図に変わりはなく、安全資産としての側面から長期的に保有することが重要と考えます。

##### (2) 投資方針

投資信託証券への投資を通じて、金価格の値動きを概ねとらえることを目指す(金に係る外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。)とともに、公社債に投資(外貨建資産については為替ヘッジを行います。)することを基本とします。

## ■1万口(元本10,000円)当たりの費用明細

項目	当作成期(第34期～第39期) (2014年9月17日～2015年3月16日)		項目の概要
	金額	比率	
平均基準価額	9,417円	—	作成期間中の平均基準価額(月末の平均値)です。
(a) 信託報酬 (投信会社)	55円 (15)	0.584% (0.160)	(a) 信託報酬＝作成期間中の平均基準価額×信託報酬率 ・ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、各種情報提供等、基準価額の算出等の対価 ・購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続等の対価 ・ファンドの財産の保管・管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(販売会社)	(38)	(0.402)	
(受託会社)	(2)	(0.021)	
(b) その他費用	3	0.027	(b) その他費用＝作成期間中のその他費用÷作成期間中の平均受益権口数 ・保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 ・監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(保管費用)	(0)	(0.001)	
(監査費用)	(3)	(0.027)	
合計	58	0.611	

- (注1) 上記の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、設定・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。  
(注2) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を作成期間中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、各項目毎に小数第3位未満は四捨五入しています。  
(注3) 各項目の費用は、当ファンドが組入れている投資信託証券(マザーファンドを除きます)が支払った費用を含みません。  
(注4) その他費用は、当ファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。  
(注5) 各金額の円未満は四捨五入しています。

## ■当作成期中の売買および取引の状況(2014年9月17日から2015年3月16日まで)

### (1) 投資信託受益証券、投資証券

決算期		第34期～第39期			
		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
外国	邦貨建	口	千円	口	千円
	ピクテ(CH)プレシャス・メタル・ファンド フィジカル・ゴールド	1,796	25,294	645	9,157

- (注1) 金額は受渡代金です。  
(注2) 単位未満は切り捨てています。

### (2) 親投資信託受益証券の設定、解約状況

決算期		第34期～第39期			
		設定		解約	
		口数	金額	口数	金額
		千口	千円	千口	千円
	ピクテ円インカム・セレクト・マザーファンド	3,696	4,527	2,032	2,493

- (注) 単位未満は切り捨てています。

■利害関係人との取引状況等(2014年9月17日から2015年3月16日まで)

該当事項はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人をいいます。

■自社設定投資信託受益証券等の状況等

該当事項はありません。

■特定資産の価格等の調査

該当事項はありません。

■組入資産の明細(2015年3月16日現在)

(1) 邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第7作成期末(第39期末)		
	口数	評価額	比率
ピクテ(CH)プレシャス・メタル・ファンド フィジカル・ゴールド	口 7,833	千円 108,256	% 88.4
合計	7,833	108,256	88.4

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 口数・評価額の単位未満は切り捨てています。

(2) 親投資信託残高

ファンド名	第6作成期末(第33期末)	第7作成期末(第39期末)	
	口数	口数	評価額
ピクテ円インカム・セレクト・マザーファンド	千口 8,209	千口 9,872	千円 12,204

(注) 単位未満は切り捨てています。



## ■投資信託財産の構成

(2015年3月16日現在)

項 目	第7作成期末(第39期末)	
	評価額	比率
投資信託受益証券	千円 108,256	% 88.0
ピクテ円インカム・セレクト・マザーファンド	12,204	9.9
コール・ローン等、その他	2,491	2.1
投資信託財産総額	122,951	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切り捨てています。

(注2) ピクテ円インカム・セレクト・マザーファンドにおいて、当作成期末における外貨建純資産(19,755,974千円)の投資信託財産総額(20,425,647千円)に対する比率は96.7%です。

(注3) ピクテ円インカム・セレクト・マザーファンドにおける外貨建資産は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、当作成期末における邦貨換算レートは、1米ドル=121.40円、1英ポンド=179.13円、1ユーロ=127.41円、1デンマーククローネ=17.09円、1ニュージーランドドル=89.07円です。

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2014年10月15日)、(2014年11月17日)、(2014年12月15日)、(2015年1月15日)、(2015年2月16日)、(2015年3月16日)現在

項 目	第34期末	第35期末	第36期末	第37期末	第38期末	第39期末
(A) 資 産	98,662,948円	104,516,454円	111,416,632円	111,195,629円	116,010,776円	122,951,166円
コール・ローン等	1,730,319	2,095,809	2,049,303	1,538,502	2,368,608	2,490,163
投資信託受益証券(評価額)	87,171,491	92,393,180	98,115,225	98,550,927	100,115,676	108,256,324
ピクテ円インカム・セレクト・マザーファンド(評価額)	9,730,533	10,027,464	11,150,686	11,106,198	11,109,594	12,204,678
未収入金	30,605	—	101,417	—	2,416,895	—
未収利息	—	1	1	2	3	1
(B) 負 債	689,760	592,284	1,114,630	2,102,161	3,637,107	443,993
未払金	80,632	—	—	—	—	—
未払収益分配金	436,355	452,991	457,830	453,223	289,383	330,252
未払解約金	76,890	28,475	553,234	1,534,321	3,223,603	—
未払信託報酬	91,686	105,967	99,032	109,595	118,689	108,761
その他未払費用	4,197	4,851	4,534	5,022	5,432	4,980
(C) 純資産総額(A-B)	97,973,188	103,924,170	110,302,002	109,093,468	112,373,669	122,507,173
元 本	109,088,947	113,247,766	114,457,505	113,305,896	115,753,492	132,101,056
次期繰越損益金	△ 11,115,759	△ 9,323,596	△ 4,155,503	△ 4,212,428	△ 3,379,823	△ 9,593,883
(D) 受 益 権 総 口 数	109,088,947口	113,247,766口	114,457,505口	113,305,896口	115,753,492口	132,101,056口
1口当たり基準価額(C/D)	8,981円	9,177円	9,637円	9,628円	9,708円	9,274円

<注記事項(当運用報告書作成時点では、監査未了です。)>

(貸借対照表関係)

(注1) 当ファンドの第34期首元本額は108,592,711円、第34～39期中追加設定元本額は37,815,032円、第34～39期中一部解約元本額は14,306,687円です。

(注2) 1口当たり純資産額は、第34期末0.8981円、第35期末0.9177円、第36期末0.9637円、第37期末0.9628円、第38期末0.9708円、第39期末0.9274円です。

(注3) 元本の欠損

当作成期末において貸借対照表上の純資産額が元本総額を下回っており、その差額は9,593,883円です。

## ■ 損益の状況

第34期(自2014年9月17日至2014年10月15日)、第37期(自2014年12月16日至2015年1月15日)  
 第35期(自2014年10月16日至2014年11月17日)、第38期(自2015年1月16日至2015年2月16日)  
 第36期(自2014年11月18日至2014年12月15日)、第39期(自2015年2月17日至2015年3月16日)

項 目	第34期	第35期	第36期	第37期	第38期	第39期
(A) 配 当 等 收 益	10円	10円	14円	11円	96円	62円
受 取 利 息	10	10	14	11	96	62
(B) 有価証券売買損益	△ 318,551	2,756,668	5,768,245	466,174	1,015,364	△ 4,992,267
売 買 益	166,931	2,761,361	5,850,075	481,021	1,221,918	42,295
売 買 損	△ 485,482	△ 4,693	△ 81,830	△ 14,847	△ 206,554	△ 5,034,562
(C) 信 託 報 酬 等	△ 95,883	△ 110,818	△ 103,566	△ 114,617	△ 124,121	△ 113,741
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 414,424	2,645,860	5,664,693	351,568	891,339	△ 5,105,946
(E) 前期繰越損益金	△ 9,983,670	△ 10,379,733	△ 7,635,282	△ 1,965,118	△ 1,553,481	△ 700,290
(F) 追加信託差損益金	△ 281,310	△ 1,136,732	△ 1,727,084	△ 2,145,655	△ 2,428,298	△ 3,457,395
( 配当等相当額 )	( 7,020,517)	( 6,835,589)	( 6,490,547)	( 6,007,917)	( 5,705,678)	( 6,229,206)
( 売買損益相当額 )	(△ 7,301,827)	(△ 7,972,321)	(△ 8,217,631)	(△ 8,153,572)	(△ 8,133,976)	(△ 9,686,601)
(G) 計 (D+E+F)	△ 10,679,404	△ 8,870,605	△ 3,697,673	△ 3,759,205	△ 3,090,440	△ 9,263,631
(H) 収 益 分 配 金	△ 436,355	△ 452,991	△ 457,830	△ 453,223	△ 289,383	△ 330,252
次期繰越損益金(G+H)	△ 11,115,759	△ 9,323,596	△ 4,155,503	△ 4,212,428	△ 3,379,823	△ 9,593,883
追加信託差損益金	△ 717,665	△ 1,550,859	△ 2,149,093	△ 2,568,686	△ 2,677,191	△ 3,787,647
( 配当等相当額 )	( 6,584,565)	( 6,421,943)	( 6,068,982)	( 5,585,028)	( 5,458,314)	( 5,901,079)
( 売買損益相当額 )	(△ 7,302,230)	(△ 7,972,802)	(△ 8,218,075)	(△ 8,153,714)	(△ 8,135,505)	(△ 9,688,726)
繰 越 損 益 金	△ 10,398,094	△ 7,772,737	△ 2,006,410	△ 1,643,742	△ 702,632	△ 5,806,236

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 第34期計算期間末における費用控除後の配当等収益(0円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、および信託約款に規定する収益調整金(7,020,920円)より分配対象収益は7,020,920円(10,000口当たり643円)であり、うち436,355円(10,000口当たり40円)を分配金額としています。

(注5) 第35期計算期間末における費用控除後の配当等収益(38,864円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、および信託約款に規定する収益調整金(6,836,070円)より分配対象収益は6,874,934円(10,000口当たり607円)であり、うち452,991円(10,000口当たり40円)を分配金額としています。

(注6) 第36期計算期間末における費用控除後の配当等収益(35,821円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、および信託約款に規定する収益調整金(6,490,991円)より分配対象収益は6,526,812円(10,000口当たり570円)であり、うち457,830円(10,000口当たり40円)を分配金額としています。

(注7) 第37期計算期間末における費用控除後の配当等収益(30,192円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、および信託約款に規定する収益調整金(6,008,059円)より分配対象収益は6,038,251円(10,000口当たり532円)であり、うち453,223円(10,000口当たり40円)を分配金額としています。

(注8) 第38期計算期間末における費用控除後の配当等収益(40,490円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、および信託約款に規定する収益調整金(5,707,207円)より分配対象収益は5,747,697円(10,000口当たり496円)であり、うち289,383円(10,000口当たり25円)を分配金額としています。

(注9) 第39期計算期間末における費用控除後の配当等収益(0円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、および信託約款に規定する収益調整金(6,231,331円)より分配対象収益は6,231,331円(10,000口当たり471円)であり、うち330,252円(10,000口当たり25円)を分配金額としています。

(注10) 当ファンドが組入れているマザーファンドにおいて、信託財産の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用は、当該マザーファンドに係る信託財産の純資産総額のうち、当ファンドに対応する部分の年率0.14%以内の額です。

## 〈分配金のお知らせ〉

当作成期中の収益分配は、基準価額の水準および市況動向等を勘案して決定しました。各決算期の分配金および分配金の計算過程は以下の通りです。なお、収益分配にあてなかつた留保益の運用については、特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

	第 34 期	第 35 期	第 36 期	第 37 期	第 38 期	第 39 期
1 万口当たり分配金	40 円	40 円	40 円	40 円	25 円	25 円
費用控除後の配当等収益	0円	38,864円	35,821円	30,192円	40,490円	0円
費用控除後、繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益	0円	0円	0円	0円	0円	0円
収益調整金	7,020,920円	6,836,070円	6,490,991円	6,008,059円	5,707,207円	6,231,331円
分配準備積立金	-円	-円	-円	-円	-円	-円
分配対象収益 (1 万口当たり)	7,020,920円 (643円)	6,874,934円 (607円)	6,526,812円 (570円)	6,038,251円 (532円)	5,747,697円 (496円)	6,231,331円 (471円)
分配金額 (1 万口当たり)	436,355円 (40円)	452,991円 (40円)	457,830円 (40円)	453,223円 (40円)	289,383円 (25円)	330,252円 (25円)

### ◇ 分配金を再投資する場合

お手持り分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

### ◇ 分配金をお支払いする場合

分配金のお支払いは、各決算日から起算して5営業日までに開始いたします。

### ◇ 分配金は普通分配金に課税され、個人の受益者の場合、源泉徴収の税率は20.315% (所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%)となります。(原則として、確定申告は不要です。)

法人の受益者の場合、源泉徴収の税率は15.315% (所得税15%および復興特別所得税0.315%)となります。

(注)当作成期末現在で適用される内容であり、税制が改正された場合等は変更される場合があります。

### ◇ 元本払戻金(特別分配金)が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金(特別分配金)を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

## 〈お知らせ〉

投資信託及び投資法人に関する法律の改正等に伴い、運用報告書に記載すべき事項を電磁的方法により提供する旨および受益者から運用報告書の交付の請求があった場合にはこれを交付する旨の規定を新設するため、ならびに重大な約款変更等に係る書面決議要件の緩和、重大な約款変更等の定義の変更および反対者の買取請求が不適用となるため、所要の約款変更を行いました。

## <参考情報：投資先ファンドの主な概要>

### ピクテ(CH)プレシャス・メタル・ファンド - フィジカル・ゴールド クラス I dy JPY 受益証券

形態／表示通貨	スイス籍外国投資信託／円建て
主な投資方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主に金に投資することにより金価格の変動から得られる収益の獲得機会を投資家に提供することを目的とします。</li> <li>・費用控除後の金価格の動きに連動することを目指します。</li> </ul>
関係法人	管理会社：ピクテ・ファンズ・エス・エイ 投資顧問会社：ピクテ・アセット・マネジメント・エス・エイ 保管受託銀行、支払事務代行会社：バンク・ピクテ・アンド・シー・エス・エイ 計算事務代行会社：ファンドパートナー・ソリューションズ(ヨーロッパ)エス・エイ
主な費用	管理報酬等合計：純資産総額の年率0.34%(上限)
決算日	毎年9月30日

### ピクテ円インカム・セレクト・マザーファンド受益証券

形態／表示通貨	内国証券投資信託(マザーファンド)／円建て
主な投資方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界主要国のソブリン債券を主要投資対象とし、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長を図ることを目的として運用を行うことを基本とします。</li> <li>・投資に当たっては、発行体の信用格付を勘案したうえで、円インカム*が相対的に高いソブリン債券に着目し、ポートフォリオを構築します。            ※「円インカム」とは、円建てソブリン債券はその金利水準を指し、外貨建てソブリン債券は委託者が一定の条件で独自に算出した為替ヘッジコストを控除した金利水準を指します。</li> <li>・外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い為替リスクの低減を図ります。</li> </ul>
関係法人	委託会社：ピクテ投信投資顧問株式会社 受託会社：三菱UFJ信託銀行株式会社(再信託受託会社：日本マスタートラスト信託銀行株式会社) 投資顧問会社：ピクテ・アセット・マネジメント・エス・エイ
主な費用	信託報酬はありません。
決算日	毎年12月10日(休業日の場合は翌営業日)

「ピクテ・ゴールド・インカム・ファンド(毎月分配型)」は投資信託証券を主要投資対象としています。  
 以下は 2015 年 3 月 16 日現在で組入れている各投資先ファンドの運用状況です。

ピクテ(CH)プレシヤス・メタル・ファンド - フィジカル・ゴールド

■組入資産の明細

項目	2013年 9月30日 現在合計	購入	売却	2014年 9月30日 現在合計	通貨	時価 (単位：米ドル)	総資産に 対する 比率(%)
<b>銀行預入</b>							
<b>－ 預金</b>							
CHF					CHF	131.35	0.00
EUR					EUR	3,227.86	0.00
JPY					JPY	0.01	0.00
USD					USD	1,079,376.32	0.26
<b>預金合計</b>						<b>1,082,735.54</b>	<b>0.26</b>
<b>銀行預金合計</b>						<b>1,082,735.54</b>	<b>0.26</b>
<b>貴金属</b>							
<b>アメリカ合衆国</b>							
GR. OR (BARRE 12.5KG 995 OU MIEUX)	10,982,262	0	989,190	9,993,072	USD	390,842,850.05	93.91
GR. OR (LINGOT 1 KG 999.9)	469,953	2,178,791	2,028,806	619,938	USD	24,246,630.74	5.83
						415,089,480.79	99.74
<b>貴金属合計</b>						<b>415,089,480.79</b>	<b>99.74</b>
<b>金融派生商品</b>							
<b>為替予約取引</b>							
FX-SW. CHF/USD, 19.11.13-20.11.13	0	-998,854	-998,854	0	USD		
FX-SW. CHF/USD, 19.11.13-20.11.13	0	910,599	910,599	0	CHF	0.00	0.00
FX-SW. CHF/USD, 10.12.13-11.12.13	0	-330,136	-330,136	0	USD		
FX-SW. CHF/USD, 10.12.13-11.12.13	0	293,674	293,674	0	CHF	0.00	0.00
FX-SW. USD/EUR, 12.08.14-13.08.14	0	-700,000	-700,000	0	EUR		
FX-SW. USD/EUR, 12.08.14-13.08.14	0	936,482	936,482	0	USD	0.00	0.00
FX-SW. CHF/USD, 23.09.14-24.09.14	0	-475,903	-475,903	0	USD		
FX-SW. CHF/USD, 23.09.14-24.09.14	0	446,935	446,935	0	CHF	0.00	0.00
<b>為替予約取引合計</b>						<b>0.00</b>	<b>0.00</b>

■損益計算書 (自 2013年10月1日 至 2014年9月30日)

	(単位：米ドル)
受益証券発行に係る受取当期利益	-158,350.88
<b>収益合計</b>	<b>-158,350.88</b>
<b>費用：</b>	
支払利息	366.35
監査報酬	12,554.37
管理報酬	
－ 1 dy 受益証券	163,702.15
－ P dy 受益証券	680,952.41
－ R dy 受益証券	456,044.75
管理事務報酬	89,046.32
保管受託銀行報酬	222,615.82
その他の費用	39,429.40
受益証券買戻しに係る支払当期利益	-192,133.16
<b>費用合計</b>	<b>1,472,578.41</b>
<b>純利益</b>	<b>-1,630,929.29</b>
実現純売却損	-7,606,054.53
<b>実現利益</b>	<b>-9,236,983.82</b>
未実現売却損(変動)	-32,419,385.66
<b>総利益</b>	<b>-41,656,369.48</b>

ピクテ円インカム・セレクト・マザーファンド

■組入資産の明細(2014年12月10日現在)

外国(外貨建)公社債銘柄別

銘柄名	当 期 末					
	種類	利 率	償還年月日	額面金額	評 価 額	
					外貨建金額	邦貨換算金額
(アメリカ)		%		千米ドル	千米ドル	千円
11.25% US TREASURY N/B	国債証券	11.25	2015/ 2/15	1,900	1,938	231,581
4% US TREASURY N/B		4.0	2018/ 8/15	4,630	5,086	607,690
4.75% US TREASURY N/B		4.75	2041/ 2/15	3,750	5,149	615,159
5.375% US TREASURY N/B		5.375	2031/ 2/15	220	303	36,265
6.125% US TREASURY N/B		6.125	2027/11/15	380	539	64,392
7.25% US TREASURY N/B		7.25	2022/ 8/15	3,340	4,601	549,657
7.5% US TREASURY N/B		7.5	2016/11/15	7,140	8,083	965,618
8.75% US TREASURY N/B		8.75	2017/ 5/15	5,490	6,542	781,624
8.75% US TREASURY N/B		8.75	2020/ 8/15	5,480	7,561	903,273
8.875% US TREASURY N/B		8.875	2019/ 2/15	3,670	4,786	571,785
小計	—	—	—	—	—	5,327,048
(イギリス)				千ポンド	千ポンド	
3.25% UK TREASURY	国債証券	3.25	2044/ 1/22	990	1,101	206,203
4.25% UK TREASURY		4.25	2032/ 6/ 7	1,450	1,840	344,438
4.25% UK TREASURY		4.25	2055/12/ 7	2,370	3,362	629,348
4.5% UK TREASURY		4.5	2042/12/ 7	420	578	108,283
4.75% UK TREASURY		4.75	2020/ 3/ 7	2,120	2,482	464,663
4.75% UK TREASURY		4.75	2038/12/ 7	2,030	2,835	530,739
5% UK TREASURY		5.0	2025/ 3/ 7	750	966	180,923
6% UK TREASURY		6.0	2028/12/ 7	530	777	145,532
8% UK TREASURY		8.0	2015/12/ 7	5,570	5,988	1,120,951
8% UK TREASURY		8.0	2021/ 6/ 7	430	602	112,752
8.75% UK TREASURY	8.75	2017/ 8/25	2,240	2,722	509,624	
小計	—	—	—	—	—	4,353,460
(ユーロ)				千ユーロ	千ユーロ	
(アイルランド)						
4.5% IRELAND GOVT	国債証券	4.5	2018/10/18	8,740	10,133	1,498,592
4.5% IRELAND GOVT		4.5	2020/ 4/18	10,960	13,241	1,958,340
5.4% IRELAND GOVT		5.4	2025/ 3/13	7,170	9,815	1,451,542
小計	—	—	—	—	—	4,908,475
合計	—	—	—	—	—	14,588,984

(注1) 邦貨換算金額は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 額面・評価額の単位未満は切り捨てています。

■1万口(元本10,000円)当たりの費用明細

項 目	当 期
(a) そ の 他 費 用 ( 保 管 費 用 )	1円 (1)
合 計	1円

(注1) 左記の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、設定・解約により受益権口数に変動があるため、下記の簡便法により算出した結果です。

(a) その他費用は、当期中の金額を各月末現在の受益権口数の単純平均で除したものです。

(注2) 各項目毎に円未満は四捨五入しています。